

GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

TO CLUB PRESIDENTS AND SECRETARIES IN DISTRICT 2790 (CHIBA)

ガバナー月信 | 2016-17年度
国際ロータリー第2790地区(千葉県)



Rotary Serving Humanity

母子の健康月間



Tulip Festival in Kashiwa-city

CONTENTS

ガバナーからのメッセージ.....1	米山梅吉記念館便り.....11
地区チーム研修セミナー.....2	米山記念奨学会ニュース 204号.....11
補助金セミナー報告.....3	コーディネーターニュース 2017年4月号.....12
IM開催報告.....4~8	文庫通信 354号.....12
R.Y.L.A. セミナー報告.....9	表彰、寄付者、新ロータリアン.....13
インターアクト国外研修報告.....10	出席・会員数報告、物故者、ロータリーレート.....14

2017年 **4** Apr. 月号

COPY FOR MEMBERS
発行 / 2017年4月1日 **vol. 10**

地区行動指針 「感謝と挑戦」

Pursuing activities

sharing The Appreciation



ロータリー・リーダーシップ研究会 PartI 千葉市民会館に於いて

—— 2016-17年度の最終コーナーを迎えて ——

地区大会及び記念ゴルフ大会、分區別ロータリー情報研究会及びIM、並びに地区委員会セミナー等の地区企画主要行事をほぼ終え、今年度の最終コーナーを迎えました。

他方、1月の国際協議会でIan H.S. Riseley会長エレクトより次年度テーマ「Rotary: Making a Deference=ロータリー:変化をもたらす」が発表されると共に、寺嶋ガバナーエレクト主催の次年度に向けた「地区チーム研修セミナー」、及び「会長エレクト研修セミナー」は既に終わりました。そして、4月22日の三大セミナー最後の「地区研修協議会」を以って各クラブは次年度に向けた準備に着手します。しかし、同時に本年度は未だ3ヶ月あります。皆さんは、RI及びクラブの今年度目標、並びにクラブの課題解決への取組みを検証すると共に、未実現目標達成に取り組んで下さい。若し、今年度未達成の場合は次年度に引継ぎましょう。

ロータリーは単年度主義ですが、クラブ、会員は毎年変わりません。クラブの発展、そして会員がロータリアンになって良かったと思える活動追及には、継続的取組みが大事です。

クラブ公式訪問でお願いしたRI重点目標の会員増強(会員50名以下のクラブは1名、51名以上のクラブは2名純増)、及び会員のマイロータリー登録拡大、並びにR財団100周年記念事業の冠を付けた地域奉仕活動実施等に最後まで挑戦すると共に、R財団寄付ゼロ・クラブ解消に向けた早期寄付ご協力も宜しくお願いします。

当地区会員は2月末現在2,829名で、期首(昨年7月1日)比100名増ですが、83クラブ中36クラブは会員が増えていません。地域の経済低迷、人口減等があると思いますが、是非、価値観を分かち合う仲間の輪の拡大を実現して下さい。また、毎

年度末に多くの退会者がでる現状に鑑み、企業の人事異動を除く退会者を抑制すべく、活動活性化と会員間の絆の強化にも取り組んで下さい。

さて、マイロータリーでご存知の方もいると思いますが、RIは公平性の観点からゾーン見直しに着手し、会員8.9万人に減少した日本の割当ゾーン削減案を発表しました。世界535地区に122万人のロータリアンがいますが、RIは、3.5万人を基準に地区を34ゾーンに分けて管理しています。日付変更線以西で日本が最東方(実際は、ニュージーランドが最東方)との理由で、日本の34地区を北から第1・2・3ゾーンに割振りしました。会員数が13万人超の時代の日本は3.5ゾーンでしたが、その後の会員減少で2008年に現在の3ゾーンになりました。今回の見直し案は、第2・第3ゾーンの会員数を3.5万人以上とすべく、第2ゾーンの1地区を第3ゾーンに、当地区(RID2790)を含む第1ゾーンの5地区を第2ゾーンに各々移すと共に、第1ゾーンの残り9地区(会員1.7万人)と、パキスタン、バングラディッシュ、及びインドネシアの6地区(会員1.4万人)を第1ゾーン(会員3.1万人)とするものです。本件は、本年6月のRI理事会で最終審議され、2019年規定審議会に上程される予定です。

この結果、世界34ゾーンを偶数・奇数に分けて2年毎に選出される17名の理事で構成されるRI理事会に、第1ゾーンの日本地区から理事を派遣できるのは現在の4年毎から8年に1度となるようです。但し、ゾーン・コーディネーター選任、第1～第3ゾーン対象のロータリー研究会等は、引続き日本独自で対応可能のようです。

変化するロータリーで日本の発言力を高めるためには、仲間の輪の拡大、及び会員の研修強化が必須と考えます。



地区チーム研修セミナー設営にあたって

日時 2017年3月5日(日)
場所 ザ・クレストホテル柏

2017-18年度地区幹事長
神野 美明(柏RC)

昨年の9月にガバナーエレクト事務所を開設以来、地区組織図(案)や地区予算(案)の策定に取り掛かり、地区幹事団を編成し「地区チーム研修セミナー」開催に向けて準備を開始いたしました。準備段階では様々な状況を想定しながら準備マニュアルを作成して検討を重ねて参りましたがかなり苦戦をし、詳細が決定したのは2日前でした。

セミナー当日は10時に集合し、それぞれの担当を確認したのち、持ち場についていきました。寺嶋ガバナーエレクトが、RI会長のメッセージやテーマを、そしてガバナーとして地区の活動方針を地区チームに伝える場である本セミナーの成否が1年を左右するのだという想いで、登録受付が始まるとスタッフにも緊張感がみなぎります。地区チームのメンバーも緊張した面持ちで次々と受付を済ませ会場内に入っていきます。緊張感が最高潮に達した時に、寺嶋ガバナーエレクトの点鐘で第1部本会議が開始されました。いよいよ国際ロータリー第2790地区2017-18年度がスタートしました。

出席者の熱い視線が注がれる中、本会議は粛々と進んでいきました。本会議閉会の点鐘が鳴り響いた時に、会場に流れた安堵感を感

じたのは私だけでしょうか。

本会議が終わり、出席者は第2部の第4回ガバナー補佐会議あるいは委員会別会議に移動していきます。パストガバナーの皆様もそれぞれの委員会にご同席をいただき、寺嶋ガバナーエレクトの示した活動方針を実践に移すべく、委員長の方針を確認し、委員会の活動計画が議論されたことと思います。1年間新委員長のもと、活発な委員会活動が展開されることと思います。

第3部の懇親会場に移動してきた地区チームのメンバーは、新年度に向けた決意を秘めた凛々しい笑顔で歓談をしておりました。それまでとは雰囲気が変わり、第1部、第2部の緊張も取れ、和やかな笑顔が多く見受けられました。

私も無事このセミナーが終了できたことに安堵するとともに次のセミナーへと気持ちを引き締めました。

この地区チーム研修セミナーにご参加いただいた皆様に心から感謝申し上げます。また、開催にあたりご協力をいただいた第10分区の地区幹事団の皆様、柏RCの皆様、そして事務局員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。





地区補助金セミナー開催報告

ロータリー財団委員会

統括委員長 宇佐見 透 (千葉幕張RC)

2017年2月4日千葉市TKPガーデンシティ千葉において2017-18年度地区補助金管理セミナーが奉仕プロジェクト委員会と財団委員会の共同主催により開催されました。

当日は青木ガバナーに出席を頂いたほか、国際協議会から帰国されたばかりの寺嶋ガバナーエレクトと諸岡ガバナーノミニージェグネートにも参加頂きました。今年度のセミナーは共同主催者である堀内奉仕プロジェクト統括委員長の了解のもと、国際ロータリー第3ゾーンEPNC松本祐二コーディネイターを特別講師にお迎えしての開催となりました。出席者は地区内83クラブ全てと言いたいところですが、当日第13分区のI・Mと重なったことから80クラブ、200名を超える次年度クラブ役員及び今年度のガバナー補佐の方々に参加頂きました。

国家斉唱、Rソング唱和のあと、平野弘和R財団地区統括副委員長の進行で開式。最初に青木ガバナー、寺嶋ガバナーエレクトより御挨拶を頂き早速ポリオプラスプログラムの最新情報について講演が始まりました。

講演をお願いした松本祐二様は2014-15年度2690地区(山口、島根、鳥取)ガバナーを務められ、島根県益田市で内科医をされており2015年から第3ゾーンEPNCに就任されました。講演はパワーポイントを使い「現在日本では新生児一人当たりポリオを含む4種混合ワクチンを4回接種し、1回の接種に平均6,600円かかることから年間約100万人の新生児が生まれる日本での費用総額は(6600円×4回×100万人)260億円程かかっています。これを全て地方自治体が血税で負担しており今根絶が出来ればこの費用を他の目的に使えます。だから“今でショ!”と熱く話されました。掛け声ばかりで見えなくなっていたポリオ根絶のしっぼが見えた思いと新たな決意が喚起された講演でした。参加下さった多くの方々から使われたパワーポイントが是非欲しいと要望が寄せられています。途中で休憩を挟み、地区補助金、グローバル補助金を使っての社会奉仕、国際奉仕の補助金申請注意点を地区補助金担当の大野雅章委員長、グローバル補助金担当の時田清次委員長、派遣奨学生制度担当の関一憲委員長から説明が



ありました。水野晋治資金推進管理委員長からは全ての原資となる当地区の年次寄付の現状について耳の痛い報告もありました。各委員長の熱弁に大きな手応えを感じました。ここで本セミナーの開催時期について一言申しあげます。



ロータリーは毎年12月に開催されるクラブ総会をもって次年度会長、及び理事が選出されます。選出された会長エレクトはすぐに財団委員長をはじめ新役員を任命しますが、この時期、忘年会、新年例会などクラブ公式行事も多く更に時節柄、任命された財団、社会奉仕、国際奉仕各委員長も次年度構想の確立までには至っていないのが現実です。ただ地区財団委員会としては7月1日のスタートに合わせ新年度補助金を6月上旬迄に振込みしなければならず5月上旬にRI申請をします。申請内容を精査される奉仕プロジェクト委員会との資金振り分けにかかる協議などで一月程度かかるとすれば4月上旬に申請が揃っていないとすれば、そのため3月末日を申請締切にしています。よって皆様には早々に社会奉仕、国際奉仕委員会と財団委員会で次年度奉仕プロジェクトの概略を決めて頂くこととなります。とてもタイトなスケジュールになると思いますが、日頃から2年、3年先の“クラブ戦略”を皆で検討しておく必要があることを申し添えます。

発表のあと堀内奉仕プロジェクト統括委員長から「最初から補助金を使う前提でのプロジェクトを考えるのでは無く、日頃より地域貢献の高いプロジェクトを模索し、クラブ資金だけでは不可能なプロジェクトの不足分について補助金を申請することで、より効果的で完成度の高いものを目指して欲しい。」との注意点が述べられました。最後、青木ガバナー講評、寺嶋ガバナーエレクト総評で閉会となりました。

参加下さった会員諸氏に厚く御礼申しあげ報告とします。

IM 開催報告



第1分区ガバナー補佐
藤原 孝夫 (市川南RC)

第1分区は2月1日浦安ブライトンホテル東京ベイに於いてパストガバナー関口徳雄様をお迎えして開催されました。6クラブ参加者88名で、14時点鐘、ホストクラブ市川南RC幹事の司会で開会。リーダー卓話「ロータリーよ、何処へ行く」パストガバナー関口徳雄様。昨年度規定審議会決められた内容は110年続いたロータリーの流れをさらに大きく変えるものでありましたが、それでも「ロータリーの核」となるのは変わらず、日本のロータリーが持つ矜持や職業奉仕を大事にする文化、そして中核となる価値観等は変わりません。奉仕

は理念かの二者択一ではなく、「理念なき実践は兇器であり、実践なき理念は空である。」との先人の言を銘記すべきと、お話を頂きました。第2部講演テーマ「私のロータリー」R.Y.L.A.小委員会委員長大谷京子様にご講演をいただきました。終了後6クラブ懇親会では関口パストガバナーR.Y.L.A.小委員長大谷さんを交えて各クラブとの意見交換、懇親を深め非常に有意義で楽しい雰囲気でした。開催にあたりましてご協力を頂きました皆様に感謝申し上げます。



第2分区ガバナー補佐
岡田 敏男 (船橋東RC)

去る2月9日(木)船橋グランドホテルにて第2分区のIMが、120名超の会員参加のもと、定刻の午後2時から開催された。国歌、奉仕の理想の斉唱、佐々木会長の歓迎の挨拶があり私が本日のIMのテーマ感謝と挑戦、ロータリーに入会して良かったこと、会員であることの意味及び自分自身の体験談を語りました。その後、白鳥政孝PGより、IMのテーマについての基調講演で36年間のロータリーライフを熱心に語られました。IMのテーマによる第2分区の各クラブ会長エレクト6

名の熱意のこもった発表が行われ、白鳥PGからの有意義な講評がありました。国分裕二次期ガバナー補佐の挨拶、次期ホストクラブの石井博会長挨拶で、定刻前に終了した。その後懇親会では、ロータリーアンの多数の参加のもとコミュニケーションの場となり、親睦できました。



第4分区ガバナー補佐
小野 恒靖 (富津中央RC)

第4分区のIMは冬晴れの2月25日(土)ホテルオークラアカデミアホールにて95名の参加者のもと、開催しました。講師としてパストガバナー白鳥政孝地区研修委員長、来賓に山田修平パストガバナーをお招きしました。演題は「ロータリーからの贈りもの」で白鳥委員長の講演に会員の皆様が熱心に真剣に聞き入っていました。白鳥委員長の真摯な態度や話しの内容には、長年の経験談やこれからのロータリーのあり方、そして人間としてどうあるべきか等非常に含蓄のある素晴らしい講演でした。豊富な知見を持ち合わせた白鳥委員長でした。続いて木更津東RC、君津RC、袖ヶ浦RCから順番に活動トピックスを発表して頂きました。

木更津東RC、林孝二郎会長、君津RC次期会長、隈元雅博増強委員長、袖ヶ浦RC幹事、内海博さん皆様ご苦勞様でした。3時間があっという間に終わってしまうほど充実した中身の濃い講演でした。

続いて会場をホテルオークラに移し盛大に親睦懇親会を開催いたしました。

このような中身の濃い、勉強会プラス懇親会(IM)が永続する事を願っております。



IM 開催報告

第3分区A・B合同インターシティミーティングを終えて



第3分区Aガバナー補佐
卯田 惣治郎 (千葉中央RC)



第3分区Bガバナー補佐
金親 博榮 (千葉南RC)

2月16日木曜日(点鐘14時)、三井ガーデンホテル千葉に於いて、会員登録244名、関係者を合わせて268名の出席のもと開催致しました。

一部として、地区RLI委員会の清田浩義氏により、「米山梅吉翁の足跡を辿りロータリーの真髄を知る」と題して、基調講演が行われました。

二部として、第3分区B金親博榮ガバナー補佐をコーディネーターとし、4名のパネリストを交えて「ロータリーの明日を語る」をテーマに活発なパネルディスカッションが行われました。

三部として、ホームカミング制度を利用し、元米山奨学生の黄幸素(1996-1997年)さんを台湾よりお招きし、「ロータリー米山奨学生としての誇り」と題して卓話を頂戴しました。日本を良く理解され、世界平和を願う気持ちがとても感動的でした。

そして、懇親会でのアトラクションとして、カリオラグウッド夫妻によるオペラを拝聴しました。素晴らしい歌声に皆さんが酔いしれておられましたことは間違いございません。

米山梅吉翁とポール・ハリス、日本とアメリカで同時期に生を受け、環境、宗教、人種等々異なる中で、二人に相通じ合う心と精神性を感じて頂くことが、今回のテーマでした。お互いが「財の道」に歩まず「徳の道」を歩み、私利私欲を求めず、他利に尽くした二人でした。

今回の運営におきましては、多くの会員の皆様方にご協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。



IM開催報告



第5分区ガバナー補佐
鈴木 陽一 (館山ベイRC)

国際ロータリー第2790地区第5分区の2016～2017年度インターシティミーティングは、2017年2月15日富浦ロイヤルホテルに於いて開催されました。館山RC30名、鴨川RC12名、勝浦RC19名、千倉RC6名、鋸南RC11名、館山ベイRC16名、以上合計94名の会員が参加し実施されました。講師に国際ロータリー第2500地区2013～2014年度ガバナー蓑本正美(鉏路ベイRC)をお迎えして「讚えよう!地域を!クラブを!会員(自分)を!」というテーマで講演

をして頂きました。この講演で会員の皆様がロータリアンになって良かったと思える活動、クラブ運営の追及、並びに、結果としての退会者極小化、及び価値観を分かち合う仲間の輪の拡大に向け、皆で知識と知恵を出し合って頂き、当初の目的は十分に果たせたと思います。



第6分区ガバナー補佐
河野 知宏 (茂原東RC)

第6分区のIMは2月15日(水)日本メディカルトレーニングセンターで開催し、分区内から139名の参加を頂きました。

大会はリーダー講演としてパストガバナー杉木禧夫氏からテーマ「人類に奉仕するロータリー」について、また特別講演として熊野神社宮司元NHKアナウンサーの宮田修氏から「モンゴルと私」というテーマで講演を頂きました。

宮田氏からはモンゴルでの日本語指導や同国からの留学生支援等、長年に亘る素晴らしい活動をお聞きすることができました。また、ボラン

ティアは自身の成長に繋がるものであり、人生の大きな収穫であるという言葉に大変感銘を受けました。

続く懇親会では会員相互の交流の輪が広がり、和やかな中に終わることができました。多くの参加者から良いIMであったという意見を頂き、IMの目的は達成できたのではないのでしょうか。開催にあたりご協力頂いた関係各位に心から感謝申し上げます。



第7分区ガバナー補佐
鈴木 勝彦 (八日市場RC)

今年度のIMは2月16日(日)黄鶴に於いて第7分区4クラブ78名に海寶RLI小委員長の出席を頂き、講師に第2800地区1999～2000年ガバナー藤川享胤様(鶴岡RC)を迎え、前段は“ロータリアンとしての矜持”と題しての講演会としました。RIの「人類に奉仕するロータリー」、地区の「感謝と挑戦」をスローガンに各クラブ活動をして参りましたが、昨年度RI規定審議会にて三年に一度の規約改正が行われ、その内容の変化に混迷を深める方々も見えて参りました。そのような中で今回の藤川さんの講演はタイムリー

でした。ロータリーの歴史からひもといてRIの実情を識ることができました。今が“ロータリーの滅亡の始まり”とならぬよう基本を再確認していきたいと考えます。後段は、次年度役員紹介の後、懇親会となりました。熱田会員の奥様が代表の会のお琴の演奏を拝聴し、和やか雰囲気での集まりとなりました。



IM 開催報告



第8分区ガバナー補佐
山崎 吉高 (多古RC)

第8分区IMを、立春を過ぎてもなおきびしい寒さのなか2月18日(土曜日)成田エクセルホテル東急を会場に第8分区、佐原RC、小見川RC、佐原・香取RC、多古RCより約50名会員の出席のもと、基調講演講師に千葉RC所属、株式会社千葉日报社 代表取締役社長 萩原 博様をお招きし開催いたしました。『私が見た成田空港への思い 過去、現在、未来』のテーマで萩原様が記者時代からの成田空港への思いを、1時間の講演時間ではたりないくらい、反対闘争の内部事情など、スライドをまじえ熱く語っていただきました。

講演終了後、前第8分区ガバナー補佐、篠塚茂樹

様に記念品を贈呈し、次年度ガバナー補佐に小見川RC高岡正人様をお願いし、小見川RC会長の石橋正彦様に次年度ホストクラブのご挨拶をいただきました。最後に、佐原・香取RC会長エレクトの越川滋則様に閉会の言葉をもって無事終了いたしました。

終了後同ホテルの懇親会場に席を移し、おいしいコース料理とお酒でIMの第2の目的であります分区内の親睦を深めました。



第9分区ガバナー補佐
高橋 宏一 (八街RC)

第9分区のIMは2月18日(土)午後2時から、ホテル日航成田で開催されました。当日は分区内6クラブから115名の参加でした。開催日5日前に、青木ガバナーから出席会員に是非お伝えいただきたいという5項目を頂戴していたので、それを加えて挨拶を行いました。その後分区内6クラブの会長から、今日までの本年度8ヶ月間の活動報告をいただきました。分区内6クラブはそれぞれ地域差、クラブの状況も大きく違い、各クラブ会長も会員

増強、退会防止にはご苦労されている報告がありました。IM後半では、今県内でも最も元気のある成田市を率いる成田市長小泉一成氏の講演を、60分間熱心に聴講し、第9分区の5市2町は常に成田市と運命共同体であるという感を深くした講演内容でした。



第10分区ガバナー補佐
石戸 卓志 (柏東RC)

2月23日(木)ザ・クレストホテル柏に於いて第10分区IM.を開催した。参加会員数は131名であった。

今、ロータリーは転換期にあると言われる。昨年4月に規定審議会が開かれたが、ようやく今年になって「手続要覧」が出版された。

2001年RIは方針を大きく変えたが、その後に入会した会員が1/2~2/3となった現在、歴史を見据え、進むべき方向を決める時と考えた。そこで、中村博巨パストガバナーに「ロー

タリーの来し方、行く末」と題し基調講演を、続いて各クラブの次年度会長に「我がクラブの目指すロータリー」と題し発表をお願いし、締めをGETSから帰った直後の寺嶋GEをお願いした。その後懇親会に移行した。



IM 開催報告



第11分区ガバナー補佐
岡村 美智子 (佐倉RC)

2月5日(日) ウィンストンホテルにてIM(134名出席)→交流会(118名)。得居PGによる基調講演「不易流行決議23-34」；決議23-34の6つのパラグラフ、今日に至る過程等々の非常に有益な講演。23-34決議を理解すれば、変えてはならないロータリーの哲学が理解出来る。但し全てが「不易」なのでなく時代に即して変えている「流行」はある、と学んだ。「決議23-34を初めて聞いた」「少し難しいがもっと勉強したい」などの感想が多かった。

各クラブの新旧の会長・幹事による壇上で

のスピーチも、「他クラブの様子がよく分かった」「面白かった」「新鮮で良かった」など好評。

崎山PGによる乾杯のご発声で始まった交流会は、「多様な交流と絆」のコンセプトの基、和気あいあいと行われ、林IM実行委員長はじめ皆様の大きなご尽力のお陰で無事終了。Thank you soooo..much!!



第12分区ガバナー補佐
小倉 純夫 (松戸RC)

2月22日(水) 午後から松戸商工会議所で、リーダーに寺嶋哲生GEをお迎えし、区内154名の参加を得て開催。

寺嶋GEは、基調講演で次年度RIのテーマ「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE」について解説され、地区行動指針を「理念と実践～Think Next～」と決められたこと、変化するロータリーへの対応等についてわかりやすくお話ししていただきました。続いて今回のIMのテーマである「仲間の輪を広げ、

奉仕を実践しよう — 元気で、魅力あるクラブを目指して —」に基づいて区内5クラブの各代表者より、クラブの活動状況や会員増強、クラブの魅力、次年度活動目標等について発表がありました。そして、寺嶋GEより総評をいただき、無事終了致しました。



第13分区ガバナー補佐
青木 修 (流山RC)

第13分区のIM並びに合同例会を2月4日(土) 柏日本閣にて開催、ご来賓として流山市長、リーダーには地区研修リーダーでパストガバナーの白鳥政孝様にご臨席を賜りました。今年度のIMのテーマは「ロータリーの魅力を再認識し仲間を増やそう」とさせていただき、区内5クラブ全会員の登録のもと、当日は94名の会員に参加をいただきました。

メインとなったのは、リーダーによる基調講演、5クラブ会長エレクトの提言発表、リーダー

による総評、そして今回初の試みで区内・直近1年間の新入会員(14名の内10名が参加)による自己紹介“全員が設定時間を大超過!会場からは大拍手”、次期ホストクラブ会長挨拶、最後は大懇親会で閉会。皆様のご協力に心より感謝と御礼を申し上げます。





第40回 R.Y.L.A. セミナー報告

青少年奉仕委員会

R.Y.L.A. 小委員会

委員長 **大谷 京子**(千葉北RC)



平成29年2月25日(土)～26日(日)の2日間、国民宿舎サンライズ九十九里において「第40回 R.Y.L.A. セミナー」を開催いたしました。今回のテーマは“未来にはばたけ青少年”です。今年度も R.Y.L.A. セミナーは“歩行ラリー”を教材にし、参加者は青少年およびロータリアンで60名、運営側は地区委員・実行委員で約25名、ロータアクトを始めとする R.Y.L.A. スタッフ8名総勢100名弱で行いました。

セミナー当日は2日間とも晴天となり、その爽やかな青空の中、参加者たちは2人ペアでコマ図を持たされスタートして行きます。1日目はまだよく分からない中、30組のペアは試行錯誤しながらゴールを目指し数組のペアがゴール出来ました。1日目のラリーの後2日目のラリーに向けてペアやグループごとに意見を出し合い、共に考え協議し、また検証を行いました。そして2日目、30組のグループすべてがゴールすることが出来ました。

1日目の夜はNPO法人オープンハートの会の会長であります古市佳央様の講演会が行われ“生きる意味”や“ほっこり笑顔”などといったテーマでお話がありました。古市様自身が若いころの交通事故で顔や手に大きな損傷を負い自分の変わり果てた姿に絶望するが、さまざまな人とのふれあいの中で再び生きる希望を取り戻していったという経験をお話して頂きました。

年齢・職業・環境・考え方などが違うさまざまな人たちと2日間ペアやグループを組み、共に寝食を共にし研修を受け助け合い分かち合っていく中で“リーダーシップ”を発揮したことと思います。そして1日目はまだ初対面でもよそよそしかった参加者たちがセミナーが終わるころには、よき仲間として和気あいあいとなり楽しそうな顔となっていたのが印象的でした。このセミナーで学んだことがこれからいろいろあるであろう人生の何かしらのヒントになっていれば幸いです。皆さんご参加ありがとうございました。

最後にこの半年間、セミナー開催に向け毎月のように九十九里に足を運び、話し合い協議し、そして歩き、コースから設営まで自分たちで作り上げ、共に準備をしていただいた地区委員・実行委員・地区の他委員会のみなさん、そして当日のセミナーの中心となり活躍してくれた若手スタッフのたくさんの仲間たちに感謝申し上げます。ありがとうございました。





「インターアクト国外研修」を終えて

青少年奉仕委員会
インターアクト小委員会
委員長 森田 雅久(松戸RC)



11月11日からの4日間、奉仕の精神を国外の同世代の青少年と共有することを目的に、千葉県高等学校文化連盟との共催事業「インターアクト国外研修(台湾台北市)」を実施しました。今年度のインターアクト国外研修には、第2790地区内8校の高校生(インターアクター)20名と引率教師1名、ロータリアン9名が参加しました。

研修1日目、基調講演として李登輝前総統の講演会を予定していましたが、前総統の体調不良により、李登輝基金会より代理講師として日籍顧問 早川 友久 氏を派遣していただき、講演テーマ「無私の日本人」の研修会を行ないました。また、台日扶輪国際親善協会 頼 東明氏より、日本と台湾との結びつきや歴史、台湾の人々が尊敬する日本人として八田與一氏のご紹介などがありました。その夜の「歓迎晩餐会」では、国際ロータリー第3520地区(以下、RID3520)インターアクターとの交流を行ないました。

研修2日目、訪問国の青少年との交流として台北市立福安国民中学校が開催する学園祭に参加し、現地の中学生、RID3520インターアクターとの屋台運営や記念植樹を行ないました。午後から「日台合同青少年奉仕事業(淡水川の河川清掃)」を予定していましたが、あいにくの荒天で中止となり、RID3520インターアクターとの意見交換会に変更となりました。夕方からは「台湾の文化を知る」を目的に、RID3520インターアクターの引率で士林エリア、士林夜市を探索しました。

研修3日目、台湾の産業を知るための社会見学として台湾テレビ局(NEXTテレビ壺電視)を訪問し、実際の撮影現場を見学しました。午後からは九份エリアを散策し、台湾の歴史と文化に触れることができました。その夜のスタンツ研修では、研修班ごとに別れ、研修で感じたことや学んだことなど、楽しい発表を行ないました。

研修4日目、帰国後、成田空港内にて解団式を行ないました。

今年度の国外研修は例年とは趣を変え、研修色を前面に出したこともあり、参加したインターアクターはもとより、運営したロータリアンにとっても、実のある、そして一生の思い出に残る行事だったと思います。

最後に、本行事にご支援、ご協力をいただきましたRID3520パストガバナー会および扶少団委員会、台北天和扶輪社、RID2790R.Y.L.A.小委員会、インターアクト提唱クラブの皆様より御礼を申し上げます。



米山梅吉記念館便り

シリーズ⑧ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、46歳で「新隠居論」を著しました。一旦名を成した男子はすべからく後進に道を譲り、社会事業に貢献すべしという内容で、報恩会はこの信条の実践の場でした。当時三井一族が3,000万円、現在換算では800～900億円ともいわれる出資をし、社会、文化諸事業に貢献する目的で設立されました。理事長は米山でした。



昭和11年、岩手県視察の三井報恩会一行
(前列中央・米山) (財)三井文庫提供

ハンセン病への助成出資はもちろん米山は昭和15年から青森から沖縄のハンセン病棟を訪ね、癌には100万円でラジウムを寄付、結核療養所もほとんど訪問し、高額な寄付もしています。農村振興も多岐にわたり東北の疲弊した農村を復興させ、西平内村には謝恩の記念碑が今も建っています。

春季例祭 | 平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典・講演会
ご案内 | 米山梅吉記念館 登録料無料 アトラクションあります。
多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

(公財) ロータリー米山記念奨学会ニュース (ハイライトよねやま204号)

今月のトピックス

- ・寄付金速報 — やや回復傾向に —
- ・ミャンマーに9番目の海外米山学友会が誕生!
- ・マレーシア米山学友会が設立記念パーティーを開催
- ・学友が「若者力大賞」を受賞!
- ・ただいま!久しぶりの世話クラブ訪問

《今月のピックアップ記事》

ミャンマーに9番目の海外米山学友会が誕生!

ミャンマー出身の学友・奨学生22人が2月25日、ヤンゴン市内に集まり、海外9番目の米山学友会となるミャンマー米山学友会の設立総会が開催されました。

初代会長に就任したタンシンナインさん(2003-05/東京調布RC)は東京米山ロータリーEクラブ2750の会員であり、同学友会の創立を心待ちにしていた第2750地区会員をはじめ、学友の世話クラブ会員、当会から小沢一彦理事長と岩邊事務局長など、日本から多数のゲストが出席。また、2014年に旭日小綬賞を受章したミャンマー初の米山奨学生、アウン・チョウさん(1962-66/東京北RC・東京南RC)も家族とともに参加し、総勢約60人が設立を祝いました。

地道に学友を探して学友会設立への準備を重ねてきたタンシンナインさんは、「今後は、日本語を学ぶ学生への奨学金支給や貧しい小中学校への支援なども行いたい」と、抱負を語りました。

そのほかの記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight204_pdf.pdf

【モンゴル学友会総会のご案内】

■日時: 2017年5月14日(日) 10:00～

■会場: ウランバートル市 TUUSHIN ホテル

参加希望者は3月末までに下記へご連絡ください。

連絡先: nbolormaa211@gmail.com (幹事: ボロルマー)

※なお今年は、初代会長ジャンチブ・ガルバドラッハさんが所属するフレーRC創立15周年記念式典が、前日の13日(土)に開催されます。ぜひ併せてご参加ください。

■ Rotaryって何？

この問いをロータリアン各人に質すと、おそらく100人100様でしょう。これでは、世間の方々にロータリーを理解して頂く事は出来ないでしょう。

○まずは、クラブでこの事を話し合ってみましょう。

○何を説明するか？ つまり何を話題にするのか？ を考えましょう。

○説明する言葉(文字数)は、少なければ少ない程良いでしょう。文字数が多くなれば、その分印象が薄くなります。

ロータリーを正しく伝える為に、まずは「ロータリーの目的」を伝えるべきです。「ロータリーの目的」は大分解り易くなりました。四項目を要約すると

- 知り合いを広め奉仕の機会とする。
- 職業上の高い倫理を保ち、各自の職業を高潔なものとする。
- 社会生活に於いて奉仕の理念を実行する。
- ロータリーのネットワークを通じて、国際理解・親善・平和を推進する。

上記を少し短くしてみました。[第2570地区公共イメージ委員会作成の例]「ロータリーって何？ 自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する人々の団体です。」「ロータリーは、自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する人々の団体です。その一環として私達のクラブは、地域で青少年育成事業の支援を行っています。」と訴えれば理解されるでしょう。更に短く考えた川柳の例もあります。「我磨き仕事を磨くロータリー、地域や世界で奉仕活動」さあ！あなたのクラブでも「ロータリーを短く表す」事にチャレンジしませんか。



■ 同一地域に複数クラブが存在する場合

この場合は、同一地域の複数クラブが歩調を合わせた社会奉仕を行ったら如何でしょうか？夫々のクラブが、協働してこそ効果が表れます。各クラブの歩調が合っていないと、(広報の面からは)夫々がマイナス効果となってしまいます。

■ 最期に一言

効果を期待するなら、直ぐに実行すべきです。議論しても実行しなければ何の効果もありません。上方の写真は、第2570地区で広報シートを作成して大型バスのリアウインドウに貼り付けた例です。

小池百合子東京都知事は29年2月の記者会見のある場面で「NATOにならないようにしよう」と言いました。「No Action Talk Only」では先へ進まないという事です。勿論、本来のNATO…北大西洋条約機構を否定する言葉ではありません。念の為。

(第1ゾーンロータリー公共イメージコーディネーター補佐 鈴木秀憲)

文庫通信 (354号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

忘れ得ぬロータリアン (3)

- ◎「ロータリーの黎明 ポール・ピー・ハリス」 宮脇 富 1967 3p
 - ◎「第1号ロータリークラブ誕生 シルベスター・シール」 宮脇 富 1967 3p
 - ◎「ロータリーと歌 ハリー・ラッグルス」 宮脇 富 1967 3p
 - ◎「ラッグルスの回顧録」 宮脇 富 1967 3p
 - ◎「冒険と挑戦 チェスリー R・ベリー」 宮脇 富 1967 3p
 - ◎「ロータリー定礎の三人」 塚本義隆編 大阪 R. C 1979 42p
 - ◎「献身的ロータリアン群像」 松本兼二郎 1979 8p
 - ◎「我が自叙伝」 ハーバート J. テーラー著；菅野多利雄訳 1990 219p
 - ◎「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」 鳴海淳郎 2000 9p
 - ◎「奉仕理念の提唱者 アーサー・フレデリック・シェルドン」 田中 毅 2002 85p
- [上記申込先：ロータリー文庫]

— ロータリー文庫 —

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館:午前10時~午後5時 休館:土・日・祝祭日

寄付者紹介 (敬称略)

ロータリー財団寄付 年次寄付(マルチプル・ボール・ハリス・フェロー)



高橋 宏一
(八街RC)
9回目



大野 真里
(八街RC)
6回目



小川 嘉一
(八街RC)
5回目



山本 和男
(八街RC)
4回目



大畑 喜信
(八街RC)
4回目



杉山 芳夫
(習志野RC)
4回目



糸久 仁一
(八街RC)
3回目



伊藤 嘉一
(八街RC)
3回目



檜木 勝典
(八街RC)
3回目



加瀬 邦雄
(成田コスモポリタンRC)
3回目



藤崎 政弘
(成田コスモポリタンRC)
3回目



生形 健一
(八街RC)
2回目



木村 利晴
(八街RC)
2回目



小林 章
(成田コスモポリタンRC)
2回目



田中 英之
(成田コスモポリタンRC)
2回目



石井 量久
(成田コスモポリタンRC)
2回目

(新ボール・ハリス・フェロー)



永瀧 嘉嗣
(君津RC)



大矢 桂介
(成田コスモポリタンRC)



大竹 清治
(成田コスモポリタンRC)



城之内 利彦
(成田コスモポリタンRC)

米山功労者



野間口 勉
(成田コスモポリタンRC)
85回目



長谷川 吉昭
(成田コスモポリタンRC)
8回目



藤崎 康人
(成田コスモポリタンRC)
7回目



平野 正憲
(八日市場RC)
6回目



横山 英樹
(成田コスモポリタンRC)
5回目



福田 稔
(成田コスモポリタンRC)
3回目



神谷 修一
(成田コスモポリタンRC)
3回目



林 咲江
(八日市場RC)
2回目



沢田 克洋
(成田コスモポリタンRC)
2回目



松井 清
(八日市場RC)
1回目



大矢 桂介
(成田コスモポリタンRC)
1回目



山本 武広
(成田コスモポリタンRC)
1回目



飯島 栄
(成田コスモポリタンRC)
1回目

新ロータリアン (敬称略)



孟 霖
(四街道RC)
国際運輸
1月11日入会



君塚 桂一
(習志野RC)
商業銀行
2月1日入会



上妻 敬子
(君津RC)
金属製品
2月6日入会



坂田 一
(浦安RC)
自動車整備
2月17日入会



川村 道人
(佐倉RC)
建築設計
2月21日入会



和田 賢太郎
(佐倉RC)
タクシー業
2月21日入会



加藤 信夫
(市川南RC)
建築請負業
3月1日入会



佐藤 健一
(松戸RC)
税理士
3月1日入会



三須 榮光
(船橋東RC)
冠婚葬祭業
3月2日入会

国際ロータリー第2790地区(千葉)出席・会員数報告(2017年2月分)

分区	クラブ名	出席率(%)	例会数	会員数				
				2016 7/1	女性	当月	女性	増減
第1分区	市川	82.17	3	37	0	38	0	1
	市川東	100.00	4	41	0	45	2	4
	市川南	72.00	4	17	2	19	2	2
	浦安	89.80	3	35	2	44	2	9
	市川シビック	82.76	3	35	0	35	0	0
	浦安ベイ	75.00	3	13	0	12	0	△1
	平均	83.62	3.33	29.67	0.67	32.17	1.00	15
第2分区	船橋	92.86	4	27	0	28	0	1
	船橋西	96.02	4	40	6	40	6	0
	鎌ヶ谷	83.64	4	32	2	32	2	0
	船橋東	81.55	4	31	2	32	3	1
	船橋南	72.73	4	16	4	16	4	0
	船橋みなと	91.59	4	21	5	21	5	0
	平均	86.40	4.00	27.83	3.17	28.17	3.33	2
第3分区A	千葉葉	92.02	4	80	3	83	3	3
	新千葉	90.52	4	50	0	47	0	△3
	千葉西	86.58	4	53	3	51	3	△2
	千葉中央	72.36	4	32	0	34	0	2
	千葉幕張	71.62	4	37	2	37	2	0
	千葉東	75.68	4	33	4	34	6	1
	千葉若潮	53.71	4	31	1	31	1	0
平均	77.50	4.00	45.14	1.86	45.29	2.14	1	
第3分区B	千葉南	77.94	4	52	7	51	7	△1
	市原	70.77	4	38	2	40	2	2
	千葉港	86.04	4	23	2	24	3	1
	市原中央	75.03	4	50	2	50	2	0
	千葉北	64.29	4	27	3	28	3	1
	千葉緑	60.17	3	27	2	28	1	1
	平均	72.37	3.83	36.17	3.00	36.83	3.00	4
第4分区	木更津	72.38	4	27	3	27	2	0
	上総	60.00	4	17	0	15	0	△2
	富津中央	71.43	4	28	1	31	1	3
	木更津東	82.55	4	40	0	45	1	5
	君津	89.94	3	50	2	55	4	5
	袖ヶ浦	90.27	4	24	3	27	4	3
	富津シティ	89.06	4	15	1	16	0	1
平均	79.38	3.86	25.13	1.25	27.00	1.50	15	
第5分区	館山	82.06	4	53	3	52	3	△1
	鴨川	84.76	3	31	5	32	5	1
	勝浦	94.73	4	37	4	38	4	1
	千倉	77.50	4	10	2	10	2	0
	鋸南	88.09	3	13	1	14	1	1
	館山ベイ	75.00	4	20	0	24	0	4
	平均	83.69	3.67	27.33	2.50	28.33	2.50	6
第6分区	茂原	88.10	3	65	3	64	0	△1
	東金	90.19	3	20	1	17	1	△3
	大原	93.00	3	10	1	9	1	△1
	大多喜	94.44	3	5	1	6	1	1
	成田空港南	86.29	4	36	0	35	0	△1
	茂原東	86.66	3	22	2	21	1	△1
	茂原中央	80.00	4	17	2	20	2	3
大網	85.00	4	30	1	30	1	0	
東金ビュー	77.50	2	20	1	20	1	0	
平均	86.80	3.22	25.00	1.33	24.67	0.89	△3	

分区	クラブ名	出席率(%)	例会数	会員数				
				2016 7/1	女性	当月	女性	増減
第7分区	銚子	78.07	4	39	4	41	4	2
	旭	58.40	3	44	3	44	3	0
	八日市場	73.63	3	39	2	41	3	2
	銚子東	77.42	4	36	2	34	2	△2
	平均	71.88	3.50	39.50	2.75	40.00	3.00	2
第8分区	佐原	74.48	4	47	0	50	0	3
	多古	86.11	3	15	0	15	0	0
	小見川	84.78	4	23	0	23	0	0
	佐原香取	85.22	4	24	1	25	1	1
平均	82.65	3.75	27.25	0.25	28.25	0.25	4	
第9分区	成田	71.08	4	59	0	72	4	13
	八街	87.52	4	27	2	33	3	6
	印西	67.50	4	23	1	24	1	1
	白井	64.06	4	17	0	16	0	△1
	富里	65.86	4	28	0	29	0	1
	成田コスモポリタン	74.28	4	67	0	69	0	2
平均	71.72	4.00	36.83	0.50	40.50	1.33	22	
第10分区	柏	75.90	4	56	9	58	9	2
	我孫子	77.77	4	22	1	27	3	5
	柏西	85.47	4	61	4	62	3	1
	柏東	83.37	4	32	4	35	6	3
	柏南	65.60	4	30	5	32	6	2
平均	77.62	4.00	40.20	4.60	42.80	5.40	13	
第11分区	習志野	79.25	4	26	1	26	1	0
	八千代	81.31	3	49	0	50	0	1
	佐倉	76.79	4	24	3	30	3	6
	八千代中央	75.80	3	29	2	28	2	△1
	四街道	75.93	4	25	2	28	3	3
	習志野中央	82.88	4	45	5	50	5	5
佐倉中央	67.74	3	21	4	21	4	0	
平均	77.10	3.57	31.29	2.43	33.29	2.57	14	
第12分区	松戸	88.47	4	56	0	57	0	1
	松戸東	89.05	4	46	0	45	0	△1
	松戸北	77.37	4	38	0	38	0	0
	松戸中央	81.44	4	43	6	44	6	1
	松戸西	88.89	3	29	0	29	0	0
	平均	85.04	3.80	42.40	1.20	42.60	1.20	1
第13分区	野田	80.80	3	58	8	60	8	2
	流山	67.73	4	14	4	15	4	1
	野田東	76.14	4	23	0	22	0	△1
	流山中央	92.50	4	23	2	23	2	0
	野田セントラル	89.58	4	23	0	25	1	2
平均	81.35	3.80	28.20	2.80	29.00	3.00	4	

クラブ数83RC		
2016年7月1日	地区会員数	2,729人
2017年2月末日	地区会員数	2,829人
2016年7月1日	地区女性会員数	166人
2017年2月末日	地区女性会員数	181人
当月平均出席率		80.38%
増減		+100
女性会員増減		+15

物故会員 (敬称略)



リキマル ジョウジ
力丸 譲司(第12分区 松戸東RC)
逝去日: 2017年2月16日(享年58歳)
入会日: 2009年1月9日

4月のロータリーレート

116円

**KIRA CLUB** in DISTRICT 2790**松戸中央RC**

昨年の11月に松戸中央RCは、青少年奉仕活動の一環として、「ちびっ子サッカー大会」を開催しました。参加人数は毎年800人～1000人、2年生の部（15チーム）1年生の部（15チーム）とかなり大きい規模のイベントになりました。過去には現柏レイソル監督の下平選手や現ジェフユナイテッド千葉キャプテンの近藤選手にも参加していただき、子供たちとのふれあいや子供たちへのサッカー教室も行い、子供たちのサッカー技術・意識の向上を図っているとのことでした。

既に第1回開催より10年経過いたしました。毎年サッカー場の確保や協賛の呼びかけなど苦労は多いとのことですが、少年サッカーのサポートを通じて、ロータリークラブの認知度・地域とのコミュニケーションの向上を図っています。

これからも松戸中央RCは、“地域社会とともに”をテーマに、次世代を担う子どもたちが、サッカーへの興味・関心を持ち、技術向上を図りながら心身を鍛え、フェアプレー精神を養い、今後共に成長していく仲間たちとの友情の輪を広げて、松戸市内の近隣チームの交流と親睦を深め、子どもたちの成長を支援することを目的とし、地域に愛され、信頼されるロータリアンをモットーにこの活動に推進していきたい、と力強いお言葉をいただきました。

**仕事に迷った時は『ロータリーの友』をめくってみよう**

ロータリーの友委員会 地区代表委員 **金井 浄**
(成田コスモポリタンRC)

変化の激しい、先の見通しが立てにくい時代です。仕事の上でも迷うことが多くなってきました。そういう時には、思案投げ首をしているよりも、『ロータリーの友』を開いてみては如何でしょう。

暗い気持では良い発想は浮かびません。ロータリアンの皆さんが本業でもない仕事に懸命になっている姿を見たり、前向きなクラブ活動の様子を見ることによって、皆さんにもやる気が出てきて、素晴らしい発想が生まれると思います。

周年記念

おめでとうございます

4月8日(土)

茂原RC 創立60周年

4月13日(木)

松戸中央RC 創立35周年

4月16日(日)

印西RC 創立50周年

今月の表紙

**チューリップフェスティバル**

【日時】2017年4月15日(土)、16日(日) 9:30～15:00 【場所】あけぼの山農業公園 千葉県柏市布施2005-2

あけぼの山農業公園では、風車前の約1.2haの敷地に16万もの色とりどりのチューリップが植えられ、例年4月中旬になると、美しい絵のような風景が楽しめます。

「チューリップフェスティバル」では、市立柏高校の吹奏楽演奏などのステージイベントをはじめ、子どもに人気のプレイランドが登場するほか、地元で採れた新鮮な農産物の即売コーナーや模擬店も多数出店します。

